

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する FAQ(よくあるご質問)

Q. (仮称)長坂ジャンクションと長坂インターチェンジは距離が近く危険ではありませんか？

A. ジャンクションの接続については、「道路構造令の解説と運用」や「高速道路会社の設計要領」に規定されている値により計画しています。

道路構造令の解説と運用では、ランプとの接続端間距離は標準の値で215mと示されているのに対し、都市計画案では加速車線210m、減速車線150mの計360mが確保されており、標準値を満足しています。

表 5-16 ランプの接続端間の距離

設計速度 (km/h)	48以下 (30マイル /時以下)	64~80 (40~50 マイル/時)	96~113 (60~70 マイル/時)	129 (80マイル /時)
走行速度 (km/h)	37~45	60~70	84~93	103
距離L(m)	最 小	60	120	275
	標 準	120	215	365

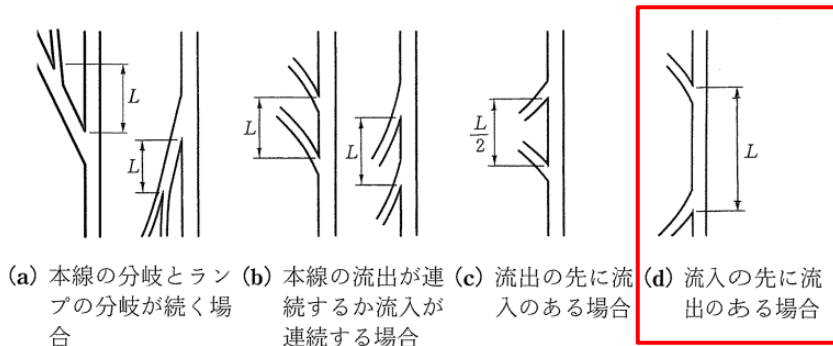


図 5-41 ランプの接続

出典：道路構造令の解説と運用令和3年3月 日本道路協会 P605 表5-16,図5-41を元に加筆※

■ 平面図



出典：都市計画案参考図を元にノーズ接続端間距離を加筆

※掲載している日本道路協会発行の著作物の一部は、本資料での使用を目的として、同協会の使用許諾を得たうえで引用しています。これらの引用部分については、本資料以外への転載、複製、配布、二次利用は固く禁止します。

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する FAQ(よくあるご質問)

- Q. 中央道の須玉インターチェンジ付近や双葉ジャンクション付近からの分岐ではダメですか？
- A. 須玉インターチェンジ付近や双葉ジャンクション付近からの分岐とすると、野辺山に向かう道路延長が長くなってしまふことや、縦断勾配などの道路構造上の基準を満たしつつ、整備コストの高いトンネルといった構造を回避すると、中央道と並走する形となり不経済となってしまいます。(H24WGでの説明事項)



【国土地理院の地図を元に作成】



【国土地理院の地図を元に作成】

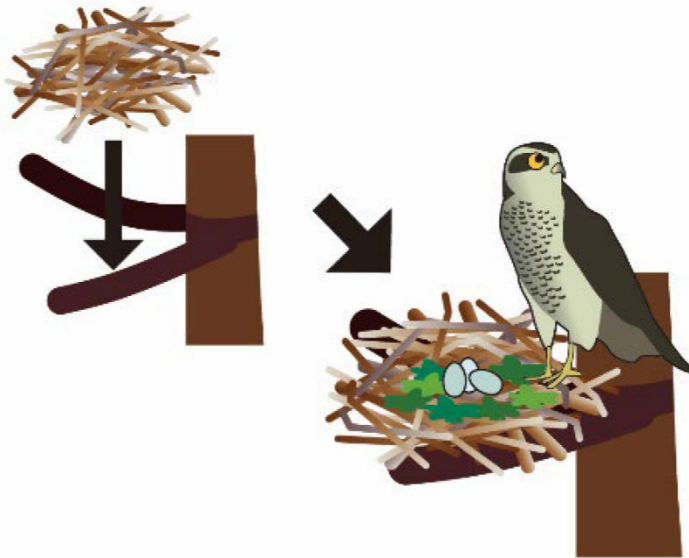


【国土地理院の地図を元に作成】

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する FAQ(よくあるご質問)

Q. 動物の代替巣とはなんですか

A. 環境影響評価準備書において、工事の実施及び道路の存在により、猛禽類(ハチクマ、ツミ、オオタカ、フクロウ)の繁殖の影響が懸念されるため、環境保全措置として、人工の巣(代替巣)を創出し、影響を受ける営巣の代償を行います。なお、設置場所等の詳細については、事業実施段階で専門家の意見を踏まえて検討します。



「道路環境影響評価の技術手法」
(国土交通省国土技術政策総合研究所)
より引用

Q. 動物の保全措置として行う移動経路の確保とはなんですか

A. 環境影響評価準備書において、計画路線の存在により哺乳類(ヤマネ)の移動経路分断が懸念されるため、環境保全措置として、アニマルパスウェイや周辺に樹木の植栽を行い移動経路の確保を行います。なお、設置場所等の詳細については、事業実施段階で専門家の意見を踏まえて検討します。

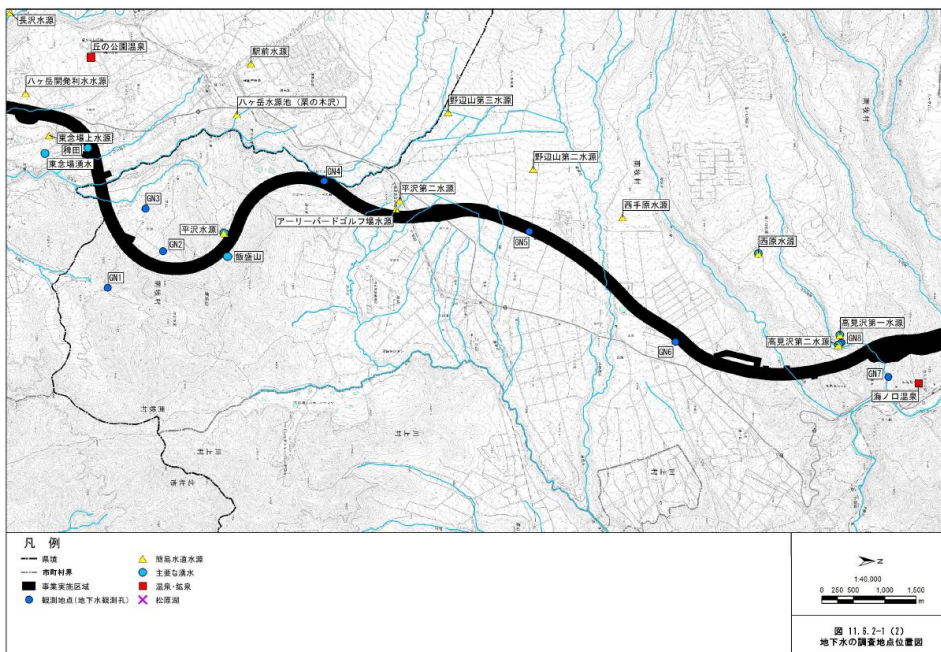
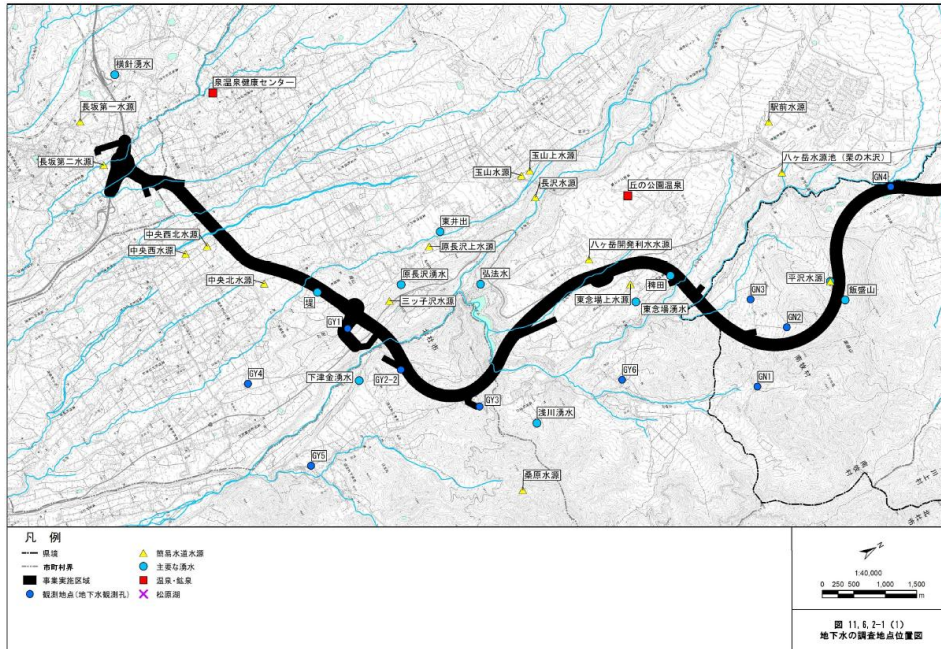


アニマルパスウェイの事例
(県道11号設置)

中部横断自動車道(長坂～八千穂)に関する FAQ(よくあるご質問)

Q. (個人の)井戸が心配

A. 環境影響評価準備書における地下水の予測地点は、事業実施区域及びその周辺から、約1.5kmに位置する水道源(簡易水道源)、主要な湧水、温泉及び湖としておりますが、工事実施箇所周辺の各戸の井戸については、事業実施段階に調査を行います。



環境影響評価準備書 第11章6.2

「水象 道路(地表式、地下式)の存在、切土工等又は既存の
工作物の除去及びトンネル工事の実施に係る地下水」より引用